

# 第 32 回みのわ未来委員会 会議要録

日 時：令和 7 年 2 月 12 日（水）14 時 00 分～15 時 10 分

会 場：箕輪町役場 大会議室

参 加 者：委員 7 人

欠席 浦野委員、征矢委員、松澤委員、竹内委員

町長、副町長、事務局 4 人（企画振興課：唐澤課長、鮎澤課長、有賀係長、渡辺）

## 1 開 会（唐澤企画振興課長）

## 4 協議事項（進行：安積会長）

### (1) 箕輪町人口ビジョンおよび総合戦略の改訂について（事務局説明）

沖村委員）

出生率が 2016～2018 で 1.65 超え、2020 年ガクンと落ちているが要因は。

鮎澤課長）

2016 年から増えているのはある程度施策によるもの。コロナ禍であったが 2020 年落ちた要因は分からない。増えているのは他自治体に負けない施策を出しているのでは効果か。

沖村委員）

上がった理由が分かればそのまま継続していけばよいと思う。

沖村委員）

今回は国も県もこれから新たな構想を取りまとめる状況の中で、もし国や県のアクションプランが出てきた時どういうタイミングでリニューアルしていくイメージか。

鮎澤課長）

振興計画が来年度最終となっている。見直しの部分が出てきたところで変更をかけられればと思っている。総合戦略を作ったからといって一切手を入れないものではない。新たな方向性が出てくればその時点で見直しをかけたい。

沖村委員）

いろんな調査があるが、宝島社の移住したいランキング箕輪町は全国 8 位。うまく活用するのも良い手だと思う。

町長）

2020 年の出生率 1.42 は本当によく分からない。コロナの始まった年。コロナの 2 年目なら分からなくないが、1 年目でなぜ下がったか実はよく分からない。

これが学校教育にとっても影響している。こども 140 人を切るようになると学校に

よっては、1学年10人以下があと2年で来る。これが大きな影響。

出生率1.5～1.6位が箕輪町の政策の中での出生率だと思っている。もう少しあげていけないとだが、女性の数が減っているので分母が減ってきている。増えたところで数が伸びるわけでない。2人目3人目を生んでもらう施策誘導はしていなければならない。

社会増減については、事業動向と外国人の動きで変わる。コロナで100人以上落ちたが、戻ってきた。どちらかというUターン率を上げていくこと。なかなか率は定められないので数字はないが、進学・就職で出ていった皆さんがいかに戻ってくるかが大事だと思っている。特に女性のUターン率があがらない。

## (2) SDGs 未来都市について（事務局説明）

### 山中委員）

具体的に計画はありますか。

### 有賀係長）

町の課題や特性を捉えたものを作らなければならない。町の特徴であるもみじ湖を中心とした内容で国に相談している。行政だけの取組みでは評価されにくいので、町の皆さん（金融・商工業・農業等）に関わっていただく計画を作る。皆さんのお力添えをいただきたい。

### 町長）

どこをもって持続可能とするか問題がある。町の特徴を見ると産業がバランスよくある。自然豊かなの中で田園工業都市と言われるような町であるのは自負できる状況にある。そういう町づくりの一環にどう味をつけるか。味の付け方として観光・もみじ湖を中心にしてやるともっといい町になるのではないかというレベルで考えている。国（SDGsの町）の考え方とマッチするか精査したい。

### 鮎澤課長）

政権交代で地方創生のあり方が若干変わった。従来はモデル事業中心。将来に向けて持続可能なまちづくりをしている視点が重要な印象。それぞれのお立場で協力いただけるとありがたい。

### 沖村委員）

新たな選定になる。どのくらいを目途としているか。

### 鮎澤課長）

国の説明では、これまでは30自治体の10自治体がモデル事業都市として補助金がもらえるようになっていたが今年は何のくらい選ぶという話はない。上限というより内容で選びたいという話があった。中身が良ければ10でも20でも選ぶ感じがあった。

### 沖村委員）

バランスのいい産業だとほかの地区は少ないのか。

鮎澤課長)

特徴的な内容で押していくイメージ。例でいえば青森市はりんご特化。根羽村は根羽杉をメインでやっている。相対的にバランスよくやっているのはあまりない。

萩原委員)

今までは単発のイメージ。今回は予算規模も大きい。今までと違う取組みを促しているのか。

鮎澤課長)

今まではSDGS未来都市に関わる部分のみ。制度変更があってモデル事業交付金が第二世代交付金に移行。内閣府担当部署としては普及させていきたい思いが強い。

単発のモデル事業ではなくなって他のものを含めての上限らしい。基本的な考え方は変わっていない。

沖村委員)

もみじ湖を全面に出してSDGsを取ったとしても、交付金を受けるときはもみじ湖に使うわけではなく、他の事業に使ってもいいか。

鮎澤課長)

未来都市の計画に基づいたものに使う。

### (3) その他

質疑なし

## 5 その他

町長)

皆さんの任期が最終段階。ご協力いただき感謝。

未来委員会の本体は町の振興計画をどうするか。振興計画は今年度が最終年度。振興計画は延長戦に入りたいという風に思っている。振興計画で書き表したものの状況があまり変わっていませんで、あえて今直す状況にないという判断。まち・ひと・しごと戦略と両方だがそうさせてもらいたいと思っている。新たな振興計画をいつ作るかは今のところ白紙。白紙だが2、3年の間だと思っている。そこまで少し延長をさせていただいて、延長すべきものについては次回以降の未来委員会で相談させてもらいたい。上位にある国の施策が非常によく分からない政策になっている。方向性も分からない。少し時間を置きたい。町として国の方向いかに関わらず、やるべきことはやらないければならないのは当たり前のことではあるが、上位団体の状況は気になるところ。ご理解を頂きたいと思っている。

地方創生は成果が出にくい。コロナによってテレワークやシェアオフィスなど出た。政策的に効果があがっているかどうかになると確かに難しい部分がある。最終的なとりまとめを次回以降の委員会で報告させて頂きたいと思う。

## 6 閉 会